



神奈川県立田奈高等学校 令和7年度第2回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和7年12月6日（土） 11：30～12：30

2 会場

神奈川県立田奈高等学校 応接室

3 出席者

<委員>

宮本みち子（放送大学客員教授）、小林正利（日本体育大学教授）、
市川宰（公益社団緑法人会事務局長）、山根淳一（横浜市立恩田小学校校長）、井澤純（神
奈川県立田奈高等学校校長）

<本校職員>

川島秀生（副校长）

4 欠席者

<委員>

石井正宏（NPO法人パノラマ代表理事）

浜崎美保（元帝京平成大学教授）

5 協議

会長挨拶（宮本みち子氏）

校長挨拶（井澤校長）本校の現状について

現在の生徒が46、47、48期となる。活気が表に出るようになってきた。行事でも個々のパワーを発揮している。それには教員の尽力がある。中学の時は力をうまく出せなかつた子どもたちへの寄り添い、うまく支えて、小さなことでも褒めていく。その結果自信のなかつた子どもたちが、少しずつ自信をつけてきていると思う。地域の方々との交流も大きな力となっていて、生徒は楽しみながら成長している。

令和8年度再編統合に向けた取組について（川島副校長）

学校パンフレットの解説

新校の特徴、スクールポリシー、総合高校の特徴でもある多彩な選択科目、部活動などを記載。



8月に公私合同、10月と11月に学校説明会に開催、1月にも予定校章の紹介と報告 カラーと白黒あり。

HP URL の報告。

入試選抜について。

校歌は佐藤嘉風氏に依頼。古めかしい校歌というよりも、生徒たちが口ずみやすい曲を作る方で、昨日も来校し、イメージをふくらませてもらっている。

組織についての検討を行っている。

学校評価部会

令和7年度学校評価報告書中間報告（川島副校長）

教育課程 学び直しについてはしっかりと取り組んだ。

生徒の主体的活動 生徒たちの前向きな活動を感じる。引き続き力を引き出していかれたら良い。

生徒支援 SC SSW ドロッピン 等手厚いフォローを行っている。指導よりも支援。

進路指導・支援 SCC 緑法人会の手厚い支援には本当に感謝。現段階で進路未決定者もあるが、担任はじめ職員で応援していく。

地域との協働 パノラマ、緑法人会、恩田小など地域に支えられている。

学校管理・学校運営 職員間の風通しの良さを感じる。新校でもこの感じを続けていきたい。働き方改革の観点から、有休取得率の向上は進んでいるが底上げをしていきたい。

次回3月には委員の皆様に事前にペーパーを渡して関係者評価をお願いしたい。

質疑

(宮本) 奨学金は様々なものが出てきているが、利用状況はどうなっているか？

(井澤) 今は本当に色々なものがあって申請中のものも多い。修学旅行参加率は100%に届かないなど経済的に厳しい状況の生徒も多いので、効果的に利用していきたい。いろいろな考えを持った職員がいるが、目的はどこにあるのか？それは生徒の幸せを強くすること。その方向に向いている。

(小林) 以前、行事の参加率が少ないと聞いたが？

(井澤) 平成の頃は田奈レンジャーを作つて盛り上げた。この2年ほど確実に増えている

(小林) 文化祭も年々活気の良さを感じる。

(市川) 朝食提供で知っている子たちが楽しそうで良い。文化祭も活気がある。生徒数が増えているのは確実で、活気は生徒数の影響が多いと思う。今年の3月に卒業した人数の倍くらいの人数が入ってきている。やはり、学校に生徒がある程度ないと盛り上がらない。朝食提供をしていても、明らかに人数が増えているのは生徒が増えているからだと思う。

(山根) 学校運営について、4月に新校の開始ということで例年にはない仕事が増えていくことを意識しなければならない。それは致し方ないことと思う。教職員は、小学校もそ

T たくまくあすむ夢みてのびやかにあゆむ

うだが自分達で新しい学校を作ろうという熱い思いとか情熱だとかを持って皆さん取り組んでいると思うのですが業務は例年ないものが加わっているのだから、働き過ぎて疲れすぎないように気を付けてもらいたい。

地域連携部会

(井澤) 卒業生進級した生徒の中にはこの朝食がなかったら無理だったということを言っている子がいた。毎週火曜、木曜にあの笑顔と愛情で迎えていただく。食事により胃袋を満たすだけでなく心を満たしていただいている。この事業は欠かせないものと思っている。平成の時代からマナー講習、職業インタビュー、職場体験、就職希望者への面接講習、テーブルマナー講習。また、全国的にも類を見ない新生活支援だ。今まで校舎にあつたものを体育館1階の倉庫に移動したのだが、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジからベッドと色々な新生活に必要なものを寄付してくださったものをストックしている。いつも市川さんははじめ事務局の方が車で取りに行って洗って持ってきててくれる。そこまでやっていただいてとても感謝している。

続いてNPO法人パノラマさんのことをご紹介したい。先日発表された神奈川県記者発表資料ですが、こども家庭庁の「未来をつくる こどもまんなかアワード」に本校から県の方に推薦させていただき、こども・若者活動奨励賞を受賞されました。実は第1回のときもこの賞を受賞しているのだが、この賞を今年も受賞された。毎週木曜日には図書館がいっぱいになっている状況である。

さらに恩田小学校との連携について、高校生が小学校に出向いて行って、逆に小学生が田奈高校に訪問して生徒や教員と交流している。そのようなことが増えている。以前はスポーツフェスティバルだけだった交流がどんどん広がっており、田奈高生が小学校に伺うと校長先生始め先生方が本当に良いサポートをしてくれてすごくありがたい。

最後に青葉区との連携では、青少年指導員との薬物乱用防止のボランティアや、グリーンエキスポを計画している。グリーンエキスポでは青葉区内の県立高校3校の活動を田奈高校が声をかけて生徒会のメンバーが活動している。やはり元石川とか市ヶ尾と活動すると最初は少し面くらっていたがそれも良い経験で成長につながっていると感じる。

その他（意見交換等）

(宮本) 家電製品セットのカタログがあって大体12、3万円くらいするが、奨学金でまかう場合、その申請をするのだが、緑法人会の支援はすごいことである。

(市川) 最初は、世帯分離をするっていうことから始めて、アパートを借りる時に、私が保証人になったり、校長先生が保証人になったりしていた。そのうち希望者も増えてきたので家電品をストックするようになり、教室を貸してもらいそこに保管するようになった。法人会の会員には不動産屋もいっぱいいて、新しい家電品が不要になることがあり、そういうのを私がもらって取りに行って綺麗に掃除して持ってきている。新生活に必要な



ものには色々なものがあり、卒業して就職したはいいけど、新しく生活するに必要なもの届けている。朝食提供もそうだが、提供する仕組みをつくることが大切である。

6 今後の予定

(川島) 最後に今後の予定だが、日程はまだ決まっていないが、3月上旬から中旬のところで第3回を行う。先ほどお伝えした通り学校評価についてお願いする。体育館の改修工事も終わり、3月2日に体育館で卒業式を行う。本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございました。これをもって令和7年度第2回学校運営協議会は終了。